

1.プロジェクトについて

事業概要

千葉県商工会議所連合会及び千葉県商工会連合会の共催で実施する、中小企業人材採用サポート事業（千葉県補助事業）は、平成28年度より開始し、今年度で4年目となる。県内の教育機関（高等学校・大学・専修学校）、地域金融機関、千葉県、千葉労働局、ハローワーク等と連携して、県内中小企業と県内教育機関との「相互交流事業」と採用力向上に係る新展開の支援を行い、人材確保と学生等の就職・地元定着を図っていくことを目的に、県内中小企業に対する人材（新卒）採用をサポートするための様々な企画を提供している。教育機関と企業へのバックアップ策としては、就職情報交換会や、橋渡し支援、生徒・学生へのバックアップ策としては、企業の魅力発表会、中小企業の魅力発見（社外広報員募集）プログラム、企業実習（ジョブシャドウイング・インターンシップ等）参加機会の提供やフォローアップ、Facebookによる県内企業の情報発信など、中小企業の認知度向上を図るための施策を実施。また、企業向け人材採用力の強化策としては、メイン講座となるリクルーター養成ゼミ、若手社員リーダー化プログラム、人材採用・定着・育成セミナーに加え、次世代リーダー社員マネジメント力強化研修を新設し、講座提供による支援を実施した。講座に関しては、月1回半年にわたり参加する形式をベースに、PBL(Project Based Learning/課題解決型学習)とアクティブラーニングの考え方を導入し、毎回、事前課題（宿題）の実施も行われ、単なる座学に終わらない体感型という特徴がある。またそれぞれの講座のコンテンツの共通化による相乗効果も意図した、職場活性化にも繋がる設計となっているのも特徴の一つ。プロジェクトで実施している講座のプログラム立案と実施については、株式会社トリムタブの代表 岸守 明彦氏に依頼をしている。

◆事業概要の広報用チラシ（次ページ参照）

当事業の開始直後となる4月中旬に千葉県“社員いきいき!元気な会社”宣言企業へ認定されている企業と各商工会議所、商工会会員企業を中心に周知した。

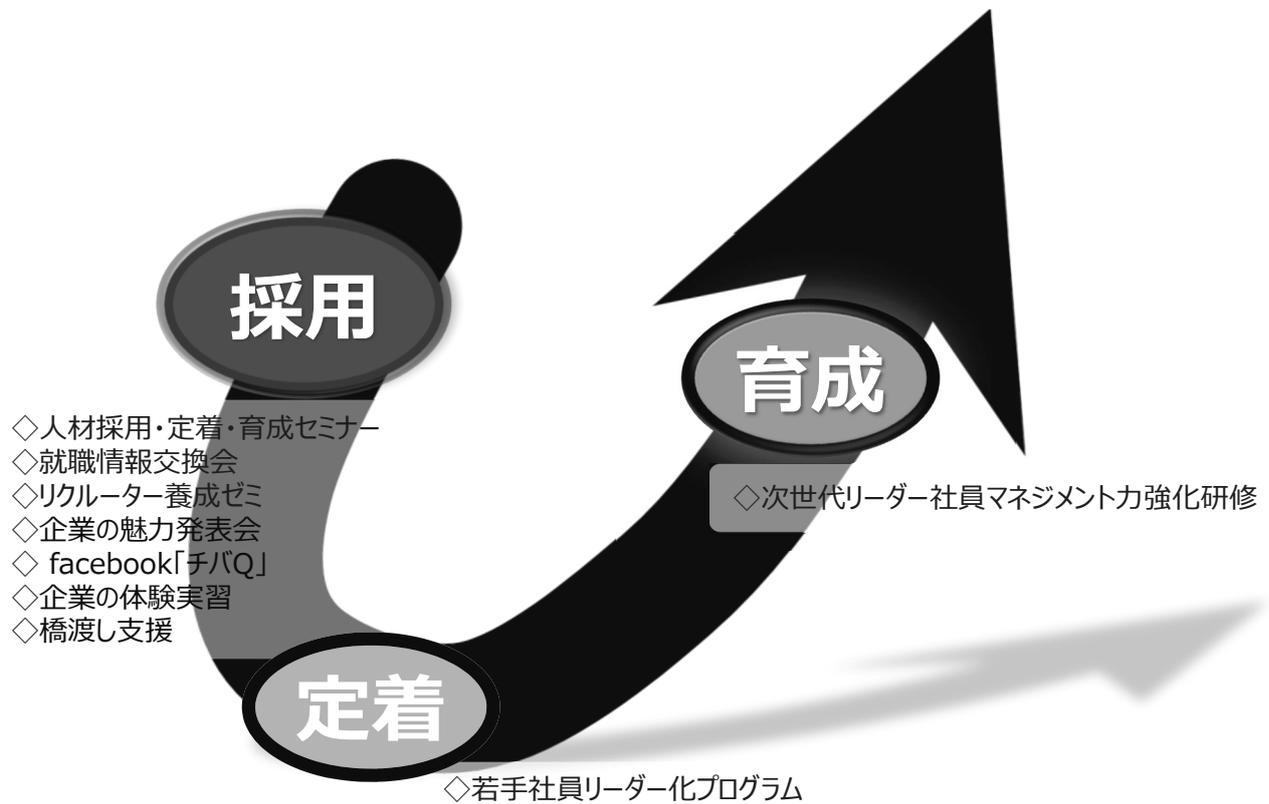


千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

2019年度・千葉県中小企業人材採用サポート事業（千葉県補助事業）

参加・登録 無料

千葉県 採用力向上サポートプロジェクト



2016年度にスタートして以来、400社以上の企業様にご登録、ご参加頂いているプロジェクトです。

県内の教育機関（高校・大学・専修学校）と連携し、県内中小企業に対する人材（新卒）採用のサポートを中心に、定着、育成も含めたコンテンツを提供しております。プロジェクトで提供する講座、就職情報交換会等を通じて、企業の人材確保と学生等の就職・地元定着を図ります。

各プログラム詳細に関しては別途ご案内いたしますので、ご興味のある企業様はプロジェクト登録をお願い致します。登録方法は裏面をご覧ください。

✦千葉県商工会議所連合会ホームページ 過去の事業実績などご覧いただけます。

<http://www.cfcci.or.jp/>

**バックアップ体制
(連携会議)**

教育機関（高等学校・大学・専修学校）
地域金融機関（地方銀行・信用金庫・信用組合）
千葉県、千葉労働局・ハローワーク

千葉県商工会議所連合会 千葉県商工会連合会 共催

裏面もご覧ください。

教育機関様

千葉県内の中小企業の皆様、採用活動から人材の定着、育成について、そのノウハウ修得を目指して取り組むプロジェクトです。学生・生徒の皆様、千葉県内の魅力的な企業を1社でも多く知っていただけるよう取り組んでまいります。千葉県内企業の活性化は、学生・生徒の学ぶ地域の活性化とも大きく連動していると考えます。ご参加をお願いしたい就職情報交換会等、プログラムの詳細は別途ご案内いたしますので、今年度も是非、お力添え下さいませようお願いいたします。

企業様ご登録

参加・登録 無料

対象企業：中小企業法に基づいた県内企業

お申込：以下URLもしくはQRコードからアクセスしていただき、プロジェクトへのご登録をお願いいたします。
登録後、各種セミナーのご案内等も、プロジェクト通信でお知らせいたします。

<https://goo.gl/4hzkfd>

※アクセスができない場合は、下記アドレスへ必要情報をお送りください。
必要情報) 企業名・フリガナ・お申込者所属部署・役職・お申込者名・所在地・業種・ホームページアドレス



2019年度実施予定のプロジェクト内容

5-6月	<ul style="list-style-type: none"> 人材採用・定着・育成セミナー [松戸・成田・木更津・船橋・千葉] 就職情報交換会対策セミナー“自社独自の魅力を探す方法” [千葉] 			企業
6月	<ul style="list-style-type: none"> リクレーター養成ゼミスタート [千葉・浦安 2クラス] 2020年1月終了 県内高等学校と県内企業との就職情報交換会 [稲毛区 穴川] 	教育機関		企業
7月	<ul style="list-style-type: none"> 若手社員リーダー化プログラムスタート [千葉] 12月終了 次世代リーダー社員マネジメント力強化研修スタート [千葉] 11月終了 県内大学・専修学校と県内企業との就職情報交換会 [千葉] 	教育機関		企業
8-9月	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業の魅力発見（社外広報員募集）プログラム 	教育機関	学生 生徒	企業
10月	<ul style="list-style-type: none"> 県内大学・専修学校と県内企業との就職情報交換会 [習志野] 	教育機関		企業
12月	<ul style="list-style-type: none"> 企業の魅力発表会（学生への自社PR発表と交流会） 		学生 生徒	企業
1-3月	<ul style="list-style-type: none"> 企業の体験実習（ジョブシャドウイング） 橋渡し支援（求人・学内合同企業説明会希望情報共有） 	教育機関	学生 生徒	企業
年度	<ul style="list-style-type: none"> facebook「チバQ」による県内中小企業情報の発信 千葉県採用力向上サポートプロジェクト通信の配信 採用に関するセミナーの情報等を随時配信 		学生 生徒	企業

お問い合わせ先

千葉県商工会議所連合会 中小企業人材採用サポートグループ 担当) 緑川・中村
TEL:043-222-8170 FAX: 043-222-8171 Email:chiba-10@cfcci.or.jp

事業目的

県内中小企業の人材確保（新卒を中心とした人材の採用）と学生等の就職・地元定着を促進するため、それに向けた3つの目的を持つ。

- ① 企業が、自社の魅力を、「伝えられる」ようにする。
- ② 中小企業の魅力を、生徒・学生が「発見できる」ようにする。
- ③ 「伝えられる魅力」を伝えることで、生徒・学生が「興味を示す」ようにする。

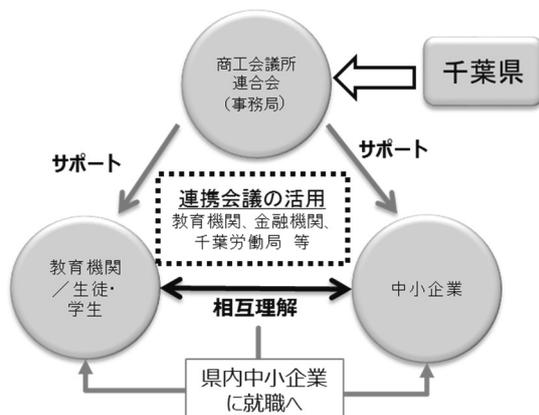
当事業では、上記3つの目的を軸に、県内中小企業の採用力を向上させ、継続的な採用成功を持続させるための支援施策として、「採用」「定着」「育成」の3本柱による事業展開を実施した。



特徴①

千葉県商工会議所連合会と千葉県商工会連合会の共催のもと、千葉全县を対象に中小企業と教育機関をサポートし、相互の理解を深め、県内中小企業への就職を促進する事業であること。

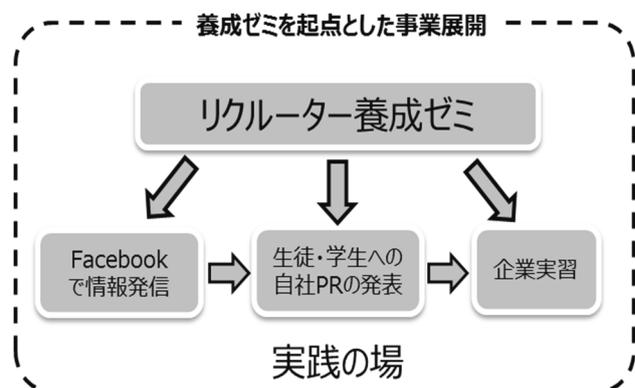
※商工会議所、商工会の会員、非会員とも対象で、且つ、中小企業基本法に規定のある中小企業者が対象。



特徴②

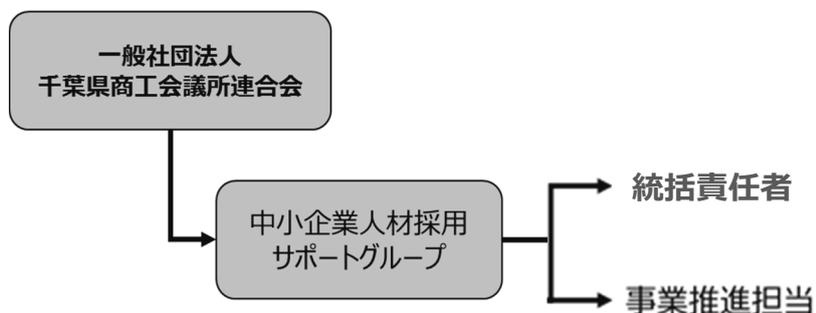
「リクルーター養成ゼミ」の開講が最大の特徴で、このゼミを受講する県内中小企業の採用担当者が、導き出された自社の魅力を情報発信し、自社PRの発表を行い、企業実習の受け入れを行う、という一連の流れになっている。

※単なる研修やセミナーの参加だけではなく、実践の場が伴い、「魅力が伝わったかどうか」の検証が可能であること。

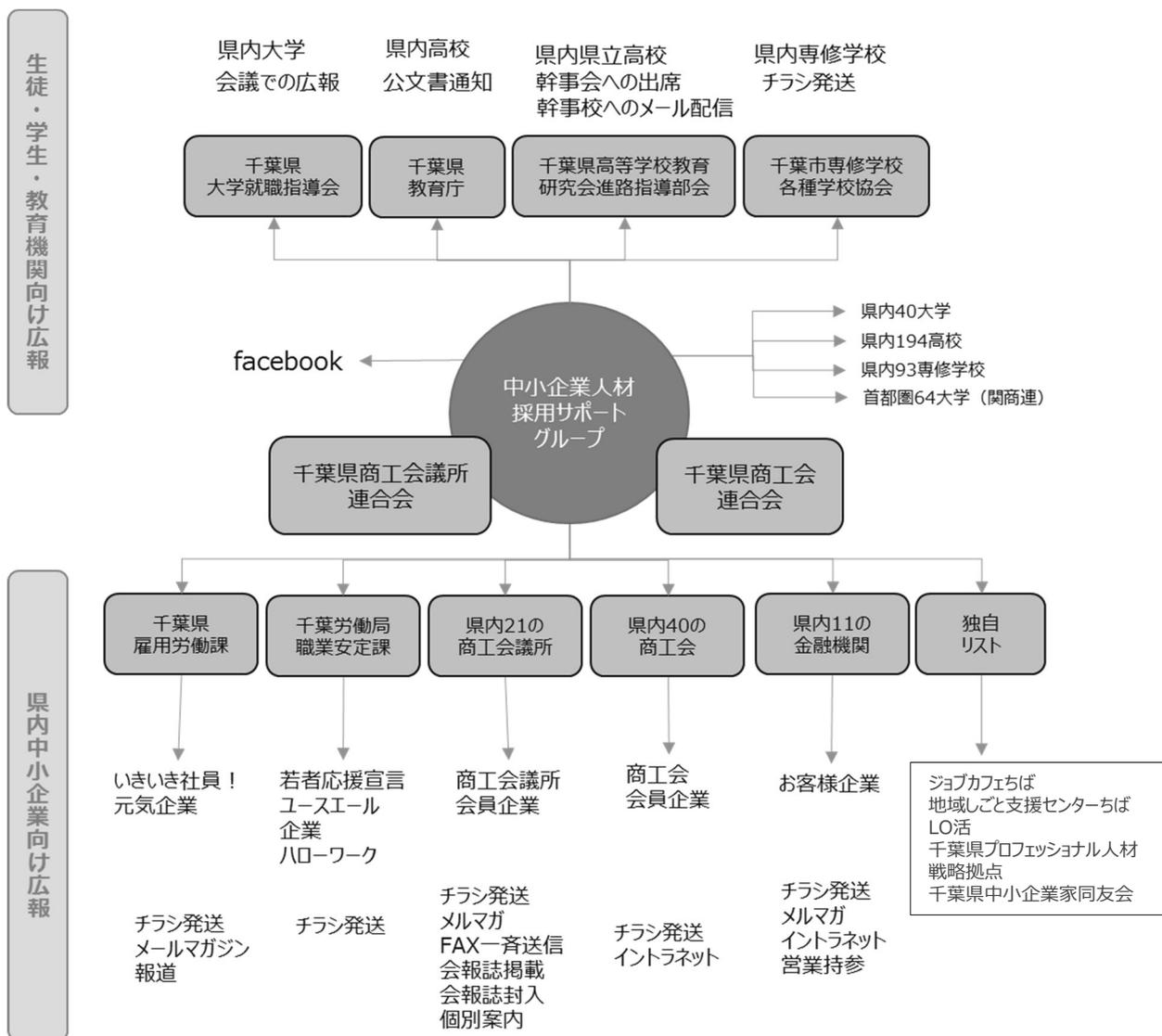


実施体制

一般社団法人 千葉県商工会議所連合会内に、中小企業人材採用サポートグループを設置。



事業広報を促進するため、以下の協力体制を構築し、各事業の広報を実施した。

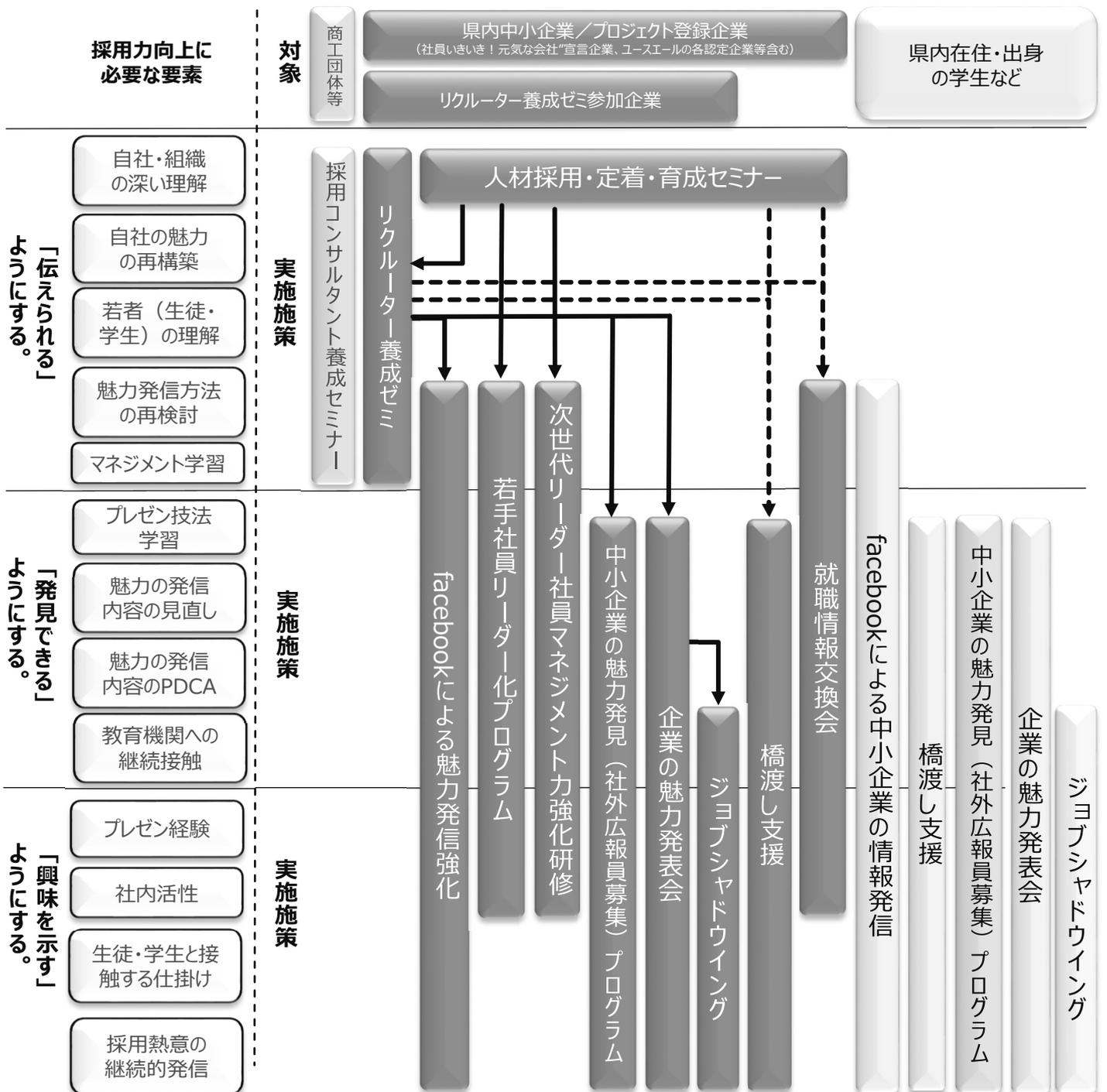


プロジェクト登録時の企業コメント

- 新卒採用でお困りの点や、当プロジェクトに期待することをお書きください。

・製造業に携わる人材の確保に苦労している。管理者、作業員共に不足しており、就職を希望する方々との直接面談できるような機会を設けてほしい。
・新卒・中途採用者を予定しております。求職者情報及びマッチング等機会をお願いします。
・本年度も宜しくお願い致します。リクルーター養成ゼミにも今年は送り込みたいと思います。
・多忙でセミナー参加は難しい。
・「会社で働く」とはどういうことか、会社と従業員の「労働契約」とはどういうことか、研修の中で触れることはあるのだろうか。
・新卒を定期的に採用したい
・新卒採用を今後導入していくためのノウハウが知りたいです
・県内大学との関係構築
・新卒採用についてノウハウがないので、サポートしていただきたいです。
・社内に人材育成のノウハウがないので ご支援いただけたらと思います
・学校とのパイプ作り
・費用等一切わかりませんので改めて詳細を頂ければ幸甚です。
・通信制高校サポート校として知名度、認知していただけるようにしたい
・高校新卒（中途も含め）三交替職場の補充に苦労しております。
・困っている点：弊社インターン・説明会等に一通り参加された学生に内定を辞退されてしまうケース。興味は持ってもらえているようですが、最後の最後で他企業を選択。
・人手不足の解消、若手社員の定着、社員育成
・当社の本社は、横浜にあり、求人募集も横浜ハローワークから実施しますが、就業先を千葉県市原市としても、なかなか千葉県在住の人材からの応募に至りません。そこで、地元での求人活動が何かできればと思い、採用力向上サポートプロジェクトへ参加しようと思いました。宜しくお願い致します。
・高校・大学等との関係性構築や応募者数増に期待。
・人手不足の介護業界ですので一人でも多く採用していきたいです。
・企業説明会などあれば参加していきたい
・専門知識を身に付けたい

実施内容全体図



プロジェクト登録企業に対する情報発信

プロジェクト登録企業への継続的な情報発信は、企業支援においては不可欠であると考えている。発信する各種告知、連携先のイベントの情報はWebのメーリングリストを活用し、今年度も継続的に配信した。

◆メーリングリストを利用した採用力向上サポートプロジェクト通信の配信

対象アドレス数：527 トータル配信数：33

◆配信時期と主な内容

配信月	配信数	主な内容
4月	4	各講座、就職情報交換会告知等
5月	3	就職情報交換会告知、プロジェクトアンケート等
6月	3	各講座、副業人材/留学生セミナー告知等
7月	1	人材確保セミナー
8月	5	働き方改革/専門人材採用活用セミナー告知等
9月	2	就職情報交換会実施報告、雇用支援セミナー告知
10月	6	ミドルシニア/副業人材セミナー告知等
12月	3	外国人材活用セミナー告知等
1月	3	千高進研究協議会案内等
2月	3	橋渡し支援案内、ICTセミナー告知等

情報配信数は前年の23件から33件と大幅に増やし、よりタイムリーに平易に情報を提供することが出来た。連携先のイベント告知に関しては、ジョブカフェちば、地域ごと支援センターちば、地域中小企業人材確保支援事業、若年者地域連携事業、千葉県プロフェッショナル人材戦略拠点事業等の告知協力を行い、このメーリングリスト配信先企業のイベントへの参加も多数確認されていることから、連携先のイベント集客にも一定の効果が表れているといえる。

◆プロジェクト登録企業数 ※令和2年3月10日現在

プロジェクト登録企業については、今年度120社の新規登録があり、過去4年間の累計で564社となった。

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
200社	118社	126社	120社	564社

教育機関連携における取り組みについて

本プロジェクトでは、県内中小企業と県内教育機関との「相互交流事業」をテーマの一つとして事業運営を行っており、その教育機関連携の強化はプロジェクトとしても大変重要であると位置づけている。その一環として独自に取り組んだのが、以下の3つである。

1. 千葉県高等学校教育研究会進路指導部会（千高進） 研究協議会パネルディスカッション

リクレーター養成ゼミ参加企業から、高校生採用を実施している企業を3社選定し、同部会の中のプログラムのひとつとしてパネルディスカッションを実施した。これは前年度に引き続き実施されたもので、高等学校の進路指導にあたる先生方へ、採用担当者による各社5分間の事業説明（自社プレゼン）を行った後に、高卒入社3年目以内の若手社員によるパネルディスカッションを実施するという形式で行われた。「研修」「休暇」「給料」をメインのテーマとして若手社員の本音と、企業の取り組みについて話してもらった。ファシリテーターは同部会参加の先生が担当された。当日は千高進、事務局からのご配慮により、本プロジェクト登録企業へ見学の機会を頂く事が出来た。リクレーター養成ゼミOB・OG企業のブラッシュアップの場として、また企業側に向けて先生方の活動場면을共有する機会を提供することが出来たことは、企業へのバックアップ策しても有効であったといえる。

* 日時 令和2年2月5日（水）13:00～16:30

* 会場 千葉市生涯学習センター 2階ホール（千葉市中央区弁天3丁目7-7）

* 内容

○パネルディスカッション「中小企業を知る」

<パネラー企業> 採用力向上サポートプロジェクト・リクレーター養成ゼミ受講企業より

①株式会社オクスベストフィットネス

②信和産業株式会社

③株式会社 美光商会 ※いずれも採用責任者と高卒若手が参加

○講演 演題『生徒たちに伝えたいおもてなしの心 ～真のグローバル人材の育成とは何か～』

講師 筑波大学 客員教授 グローバル・マナースプリングス 代表 江上 いずみ氏

* 参加者

・教育機関 95名
・見学企業 21社（25名）
・登壇企業 3社（9名）



● アンケート結果

1.本日の部会はいかがでしたか？	2.パネルディスカッション「中小企業を知る」はいかがでしたか？	3.講演「生徒たちに伝えたいおもてなしの心～真のグローバル人材の育成とは何か～」はいかがでしたか？	4.今回のような教育機関部会の参加について		
大変参考になった	18	大変参考になった	18	積極的に参加したい	19
少し参考になった	6	少し参考になった	4	参加したい	5
どちらでもない	0	どちらでもない	1	どちらとも言えない	0
あまり参考にならない	0	あまり参考にならない	1	参加は控えたい	0
全く参考にならない	0	全く参考にならない	0		

アンケート回収対象 21社25名 アンケート回収24名

2. 中小企業の魅力発見（社外広報員募集）プログラム

本プロジェクトの企画としては実験的な要素となるプログラムであり、産学連携の新たな取り組みとして実施した。本プログラムは、学生に“企業の魅力を発見する！”という社外広報員として、直接的な取材活動と学生ヒアリング調査を実施していただき、まとめた魅力を発表してもらうもので、学生への効果的な企業研究プログラムの提供となるのに加え、本プログラムの効果検証を企業へフィードバックすることで、企業の採用力等の向上を促進することが目的である。

学生の夏休み期間中、10日間のプログラムへの参加という、学生にとっては非常にハードルの高いプログラムではあるが、本企画に賛同いただいた千葉商科大学の協力により実現に至った。

企画内容自体は、次項のアンケート結果にもあるように、学生・企業の双方にとって非常に有意義なものとなったが、参加学生の確保という側面では大きな課題が残される結果となった。

【開催日】 令和元年8月26日（月）～9月6日（金）の10日間

【時間】 9：30～16：30 【場所】 千葉商科大学 The University HUB

【講師】 株式会社 トリムタブ 代表取締役 岸守 明彦 氏

【参加者】 千葉商科大学 学生 7名（2年生 3名、3年生 3名、4年生 1名）

協力（取材先）企業 4社

株式会社オックスベストフィットネス、株式会社大東システムエンジニアリング、

広島建設株式会社、松本 E S テック株式会社

プレゼン大会見学者 企業 5社、教育機関 2校（和洋女子大学・千葉経済大学）

【プログラム】

	日程	午前中 (9:30~12:00)	午後 (13:00~15:00)
1日目	8/26(月)	事業説明(目的の共有) 自己紹介ゲーム&グループ分け	中小企業の見分け方(3C分析) 働く価値観の明確化(モチベーションリソース)
2日目	8/27(火)	効果的な取材方法 (コミュニケーションゲーム&ヒアリングゲーム)	グループごとに取材先発表&アポ取り <取材先の研究>
3日目	8/28(水)	調査課題の発表&解説 プランニング研修	<企業取材 (アポが入ったグループのみ) > <調査方法のプランニング>
4日目	8/29(木)	グループごとの進捗状況共有 PDCA研修(ペーパータワーワーク) <調査方法のプランニング>	<企業取材 (アポが入ったグループのみ) > <学生ヒアリング調査>
5日目	8/30(金)	グループごとの進捗状況共有 <学生ヒアリング調査>	<企業取材 (アポが入ったグループのみ) > <学生ヒアリング調査>
6日目	9/2(月)	グループごとに進捗状況共有 プレゼンテーション研修 <プレゼンテーション準備>	<学生ヒアリング調査> <プレゼンテーション準備>
7日目	9/3(火)	グループごとに進捗状況共有 <学生ヒアリング調査> <プレゼンテーション準備>	<学生ヒアリング調査> <プレゼンテーション準備>
8日目	9/4(水)	プレゼン大会予行演習	<プレゼン内容修正>
9日目	9/5(木)	<プレゼン内容修正>	<プレゼン内容修正>
10日目	9/6(金)	プレゼン大会(10~13時)	プログラムの振り返り(ジョハリの窓) 評価フィードバック(企業&講師)



●アンケート結果

(学生)

Q1. 実際に『中小企業の魅力発見プログラム』に参加してよかったと思いますか？

1. 大変よかった	71%
2. よかった	29%
3. ふつう	0%
4. 少し不満	0%
5. 不満	0%

- ・普通のインターンとは違い、コンサルタントとして活動したことで会社の内部までよく見えた。
- ・自分の就活に対してのイメージが変わったり、プレゼンの仕方でも学べた。
- ・自分の悪いところが良く見えた。
- ・今までは気づけなかった視点でみれるようになった。
- ・何も決まっていなかった自分に、新しい糧ができたと思います
- ・今までにない視点から、就活について学べた。自分から動かなければと感じた。

Q2. 今回の『中小企業の魅力発見プログラム』を受けて、企業選びの考え方(希望職種や条件など)が変わりましたか？

1. すごく変わった	43%
2. 少し変わった	57%
3. どちらとも言えない	0%
4. あまり変わらなかった	0%
5. 全く変わらなかった	0%

- ・内部までよく見えた。基準軸がわかった。
- ・実際に行ってみて自分で調べたモチベーションリソースで選びたい
- ・自分の価値観と企業のマッチング
- ・興味がなくても見てみよう
- ・自分がやりたいことは何か、自分が求めているものは何か

Q3. 今回の『中小企業の魅力発見プログラム』を受けて、中小企業の見方が変わりましたか？

1. すごく変わった	14%
2. 少し変わった	43%
3. どちらとも言えない	14%
4. あまり変わらなかった	29%
5. 全く変わらなかった	0%

- ・中小企業でも給与が高かったり、色々な特色があると思った
- ・前に追加して、もっと中小企業の良さが分かって興味を持った
- ・多くの可能性、地域ですごく頑張っている
- ・自分の基準軸に何が必要かわかった。
- ・給与が良ければ中小でも大企業でもいい

(企業)

Q1. プレゼン大会という企画はいかがでしたか？

1. 大変よかった	80%
2. よかった	20%
3. どちらでもない	0%
4. 少し不満	0%
5. 大いに不満	0%

- ・学生が企業を取材し企業の魅力を発表する事が斬新。
- ・発表する場があったからこそ準備を念入りしてくれた気がしたからです。
- ・今後の採用活動の戦略に繋がりました。
- ・大学生の生の声を聞くチャンスがないので刺激を受けた。
- ・今の学生さん達がどのような考えで就活に臨んでいるかわかった。
- ・就活モードではない学生の雰囲気やレベルが確認できてとても面白い企画だと思った。

Q2. 学生のプレゼンを聞いて参考になりましたか？

1. 大変参考になった	70%
2. 少し参考になった	30%
3. どちらでもない	0%
4. あまり参考にならなかった	0%
5. 全く参考にならなかった	0%

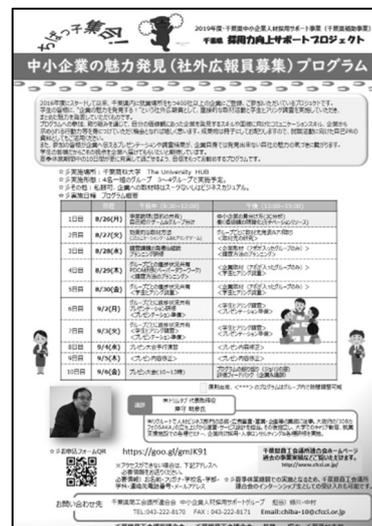
- ・就活における学生の着眼点を知ることが出来た。
- ・HP等、学生の目線をどう取り入れていけるのか大変参考になった。
- ・普段聞くことのできない学生さんのリアルな気持ちを知ることができた。
- ・学生の注目する事や認識の意外性を知ることができた。
- ・HPの改善について具体的に提案してくれたところ。
- ・学生の記憶に残るにはまずインパクト
- ・学生のリアルな視点を知ることができた
- ・「当社の志望していない学生」の生の声は参考になりました。志望していないというのが重要で、厳しい(ちょっと失礼な)質問や指摘をされる機会がないのでとても有意義な時間になりました。

Q3. 今回のようなプログラムに参加したいですか？

1. 協力企業として参加したい	80%
2. 見学企業として参加したい	20%
3. どちらでもない	0%
4. 参加は控えたい	0%

- ・自社の強み・弱みを客観的な視点で見たい
- ・不人気業界だからこそ学生に来てもらい、知ってもらいたい。
- ・学生さんに知ってもらえる良い機会だったので、またお願いしたい。
- ・取材先としては正直怖いですが、社内ではない気づきや発想に繋がる。
- ・リクルートに活かせる素材等ヒントをもらったから
- ・応募者目線の意見・考えをもっと聞きたい
- ・外部の意見は自身では気づけない参考になる点が多いので、たくさんの意見をもらい、改善に繋げたい。

《参考》 学生向け広報チラシ



3. プレ・インターンシップ登録会 in 千葉経済大学

本プロジェクトの連携先教育機関である千葉経済大学より、1~2年生向けのインターンシップカリキュラムのとしてプレ・インターンシップ登録会の協力要請があり、産学連携強化の取り組みの一環として対応、本プロジェクトの共催として実施した。登録会にはプロジェクトの提供するリクレーター養成ゼミ参加企業より8社ブース出展した。

実施に際しては、各々の企業独自に「会社の魅力情報シート」を作成頂いたうえで、直接学生への自社PR出来る機会となり、リクレーター養成ゼミ参加者のブラッシュアップの場として提供することが出来た。

就職活動への啓蒙活動の一環としてゼミや関連講座でキャリアセンターで周知、参加促進を行ったが、目標としていた20~30名には届かない結果となったが、リクレーター養成ゼミ参加企業のブラッシュアップ施策としても継続していきたい企画である。

【開催日】 令和2年1月9日(木) 【時間】 13:00~16:00

【場所】 千葉経済大学 学生ホール2F

【形式】 企業ブース出展

出展企業 8社 参加学生数：10名

●出展企業

	企業名	50音順	業種	本社所在地
1	株式会社 三和テレム		建設業 (電気通信工事業)	松戸市
2	株式会社 シルバーとつぶ		福祉用具専門商社	千葉市稲毛区
3	社会福祉法人泉寿会 いずみ苑グループ		高齢者福祉	千葉市若葉区
4	株式会社大東システムエンジニアリング		IT(情報通信業)	千葉市緑区
5	株式会社 ティーエスケー		建設業	船橋市
6	株式会社 トヨタレンタリース千葉		リース (サービス業)	千葉市美浜区
7	株式会社 日警保安		警備業	千葉市花見川区
8	松本E S テック 株式会社		製造業	千葉市花見川区

●企業の魅力情報シート (学生配布)

The image shows a collection of promotional materials for the 'Pre-Internship Registration Event'. Key items include:

- Registration Event Poster:** Announces the event on January 9, 2020, at the University of Chiba, featuring a starry background.
- Booth Layout Map:** A circular diagram showing the arrangement of 8 company booths (numbered 1-8) around a central area.
- Company Charm Information Sheets:** Multiple sheets for different companies, such as:
 - Sanwa Telecom (三和テレム):** Promotes their 'IoT-based power outage prevention' services.
 - Silver and Tsubo (シルバーとつぶ):** Focuses on 'Welfare equipment' for the elderly.
 - Tea Escalator (ティーエスケー):** Promotes their 'Construction' services.
 - Toyota Rent a Car (トヨタレンタリース千葉):** Promotes their 'Leasing (Service Industry)' services.
 - Other companies:** Includes 'Izumiden Group' (elderly care), 'Daigaku System Engineering' (IT), 'Nippon Keihin' (security), and 'Matsumoto ESTech' (manufacturing).

●アンケート結果

1.本日の登録会はいかがでしたか？

1.大変有意義だった	63%
2.少し有意義だった	38%
3.どちらでもない	0%
4.あまり有意義ではなかった	0%
5.全く有意義ではなかった	0%

- ・インターンシップという事で身構えてしまい二の足を踏んでしまった生徒さんもいたのかな？と感じました。
- ・プレであればもう少し気軽に参加できる様なアナウンスもありかと思えます。
- ・幅広い年代短1年大3年までの学生と触れる貴重な体験ができました。

2.ブース対応では最近の学生の視点や考え方など、参考になりましたか？

1.大変参考になった	50%
2.少し参考になった	25%
3.どちらでもない	25%
4.あまり参考にならなかった	0%
5.全く参考にならなかった	0%

- ・製造業のイメージを話してくれた生徒さんがいました。考えが広がりました。
- ・今時の若者という感じです。これと言ってやりたいことをみつけてないのも、この時代だから……。

3.事務局の出展依頼～当日の運営面はいかがでしたか？

1.大変良かった	63%
2.少し良かった	38%
3.どちらでもない	0%
4.あまり良くなかった	0%
5.全く良くなかった	0%

- ・連絡や運営への不安等はなく不明点への対応も迅速にして頂きました。
- ・学生さんがもつとたくさん集まって下さると良かったと思います。
- ・とても感謝しています。

4.企業の魅力情報シートの学生の反応についてお聞かせください。

1.大変良かった	25%
2.少し良かった	13%
3.どちらでもない	50%
4.あまり良くなかった	13%
5.全く良くなかった	0%

- ・見ていないようだった。
- ・前もって企業情報を確認してからブースにつく生徒さんがあまりいなかったのではないかと思います。
- ・自社の資料はみていたが、企業の魅力情報シートはあまり見ている様子はなかった
- ・特に読んでるのか疑問ですが。
- ・事前にキャリアセンターのラック等に設置したりPDFなどの配信等、学生に手にとって貰けるともっと良かったです。

5.今回のような教育機関との連携施策の参加について

1.積極的に参加したい	100%
2.参加したい	0%
3.どちらとも言えない	0%
4.参加はひかえたい	0%

- ・毎年採用しているわけではないため教育機関とのつながりがありなく、今後もできれば参加したい
- ・地元の学生に対し、アピールを行いたい
- ・いつでもどこでもご協力します。何なりと！
- ・直接、間接に新卒採用に結び付けたい。学生、大学との関係構築を計りたい。

《参考》

学生向け広報チラシ